

令和元年度 入札監視委員会議事概要

航空自衛隊第2航空団

開催日及び場所	令和元年9月26日(木)	防衛装備庁千歳試験場内会議室
委員	阿座上洋吉(経営学者) 大浦 崇志(公認会計士) 神谷奈保子(大学客員教授) 菊地 均(大学名誉教授) 津田秀太郎(弁護士)	(50音順)

防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日
審議対象件数	54件

1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数		2件	(審議概要) 1 契約状況の説明 2 抽出案件の概要説明 3 抽出案件の審議
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	0件	
	一般競争(政府調達協定対象外)	2件	
	公募型指名競争	0件	
	指名競争	0件	
	企画競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	0件		

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【指名停止状況説明】 (特になし)</p> <p>【低入札状況説明】 (特になし)</p> <p>【抽出案件】 ○建設工事 (一般競争(政府調達協定対象外)) ①公務員宿舎自転車置場更新工事 ・低価格入札になった理由について説明されたい。</p> <p>・予定価格と落札価格の内訳で乖離が最も大きな部分はどこか。</p> <p>・問題なく履行されたのか。</p> <p>② 基地内屋根等補修工事 ・低入札価格調査をどのように行い、履行可能と判断したのか説明されたい。</p>	<p>・本件の落札業者は、過去の工事実績から地域事情に精通しており、各種の工事を幅広く扱っているため、効率的に作業が行えること、また、資材についても長年取引をしている協力会社から安価に調達できることから当該価格による入札が可能となった。</p> <p>・予定価格と落札価格の内訳を比較すると、資材単価と労務費が安価に抑えられていたため、直接工事費が最も大きく乖離していた。</p> <p>・仕様書のとおり問題なく履行されていたことを完成検査で確認している。</p> <p>・低入札価格調査に必要な資料の提出を求め、更に調査対象者への聴取を行った結果、経験豊富な自社社員と、長年取引をしている現場近隣の下請作業員を確保する</p>

		意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		<ul style="list-style-type: none"> ・下請業者の労務費に対するしわ寄せはなかったか。 ・業者の経営状況の確認は行っているのか。 ・予定価格は妥当であったのか。 	<p>ことによって効率的な施工体制が構築されるため、価格の低減が可能となっていたが、必要な経費は見込まれていたことから、仕様書のとおり工事が履行できるものと判断した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下請業者に聴取したところ、今回の労務単価については双方で協議した価格であること、また、これまで賃金の不払いやしわ寄せは受けておらず良好な関係であることを確認している。 ・財務諸表により健全性を確認した。 ・公共工事積算基準等に基づき積算し、基準等がない項目については市場価格調査により積算しているため、予定価格は妥当である。
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし	
2. 談合疑義案件(内訳明細書の点検結果疑義)の処理状況について			
談合疑義件数		0件	(審議概要) ・なし
工事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問	回答
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし	
3. 再苦情処理(再説明請求回答)			
再苦情申立件数(再説明請求件数)		0件	(審議概要) ・なし
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	0件	
	一般競争(政府調達協定対象外)	0件	
	公募型指名競争	0件	
	指名競争	0件	
	企画競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等		0件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問	回答
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし	

令和元年度 入札監視委員会議事概要

航空自衛隊第2航空団

開催日及び場所	令和元年9月26日(木)	防衛装備庁千歳試験場内会議室
委員	阿座上洋吉(経営学者) 大浦 崇志(公認会計士) 神谷奈保子(大学客員教授) 菊地 均(大学名誉教授) 津田秀太郎(弁護士)	(50音順)

防衛省発注機関が締結する契約(建設工事等を除く。)に関する審議

審議対象期間	平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日
審議対象件数	3,659件

1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数	総件数	3件	(審議概要) 1 契約状況の説明 2 抽出事案の概要説明 3 抽出事案の審議
一般競争契約		3件	
指名競争契約		0件	
随意契約		0件	
	意見・質問		回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【指名停止状況説明】 (特になし)</p> <p>【低入札状況説明】 (特になし)</p> <p>【抽出案件】</p> <p>①【電力需給(2空団)】 (一般競争、1者応札) ・本件は1者応札であり、過去5年間の契約状況を見ても同じA社のみ の応札であるが、なぜ一般競争とした のか。</p> <p>②【食器洗浄及び清掃作業等 千歳】 (一般競争、4者応札) ・落札率が56.93%と低く低価格入札 となっているが、予定価格の算定方 法及び低落の理由について説明され たい。</p> <p>・本件の場合、予定価格の大部分を 人件費が占めていると考えるが、内 訳書にある作業単価が人件費に当た ると解してよろしいか。</p>	<p>・電力需給が可能な業者は、特定の 1業者だけではないため、競争性を 確保するため一般競争とした。</p> <p>・予定価格は、準拠できる公的な書 籍、最新の労務単価及び市場価格調 査により算定している。また、落札 率が低くなった理由は、落札業者の 企業努力によるものとする。</p> <p>・そのとおりである。</p>	

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>・落札率がこれほど低くなると、従業員に支払われるべき賃金や法定福利費等が適正に確保されているのか懸念される。</p> <p>現行制度の下で、人件費相当額は競争させずに、経営管理の範疇で競争させるような工夫はできないものか。もし、現場における運用が困難ならば、上部機関において組織的な取り組みを考える方法もあるかと思われる。</p> <p>③ [臨床検査] (一般競争、1者応札)</p> <p>・臨床検査の単価はどのように算定するのか。</p> <p>・何社から見積を徴取したのか。</p> <p>・何故1者応札となったのか。</p>	<p>・現行の制度では人件費を除いて競争させることはできないが、現場の運用によって、そのような懸念が生じないように、改善できることはないか検討したい。</p> <p>なお、本件は仕様書のとおり問題なく履行された。</p> <p>・市場価格調査を行って算定している。</p> <p>・2社から徴取した。</p> <p>・見積を徴取した2社のうち1社は、履行期間中に役務の提供ができない時期があるということと、提供できない品目があるという理由で不参加となり1者応札となった。</p>
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	・なし	
2. 談合疑義案件(内訳明細書の点検結果疑義)の処理状況について		
談合疑義件数	0件	(審議概要) ・なし
談合情報	0件	
点検結果疑義	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	・なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし	

3. 再苦情処理（再説明請求回答）		
再苦情申立件数 （再説明請求件数）	総件数 0件	（審議概要） ・なし
一般競争契約	0件	
指名競争契約	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	・なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし	